

ウィキペディア編集支援ツール



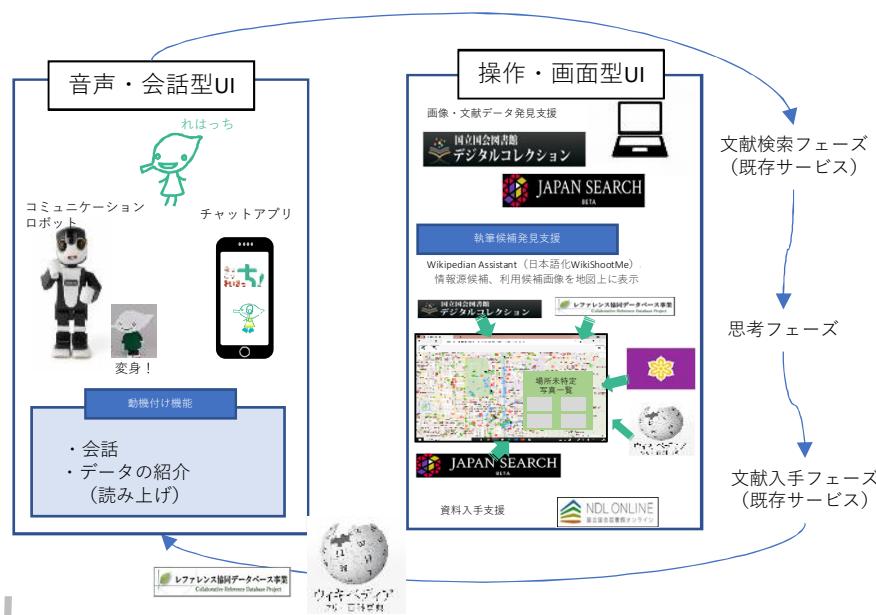
byちーむれはっち

ウィキペディア編集支援ツール あっちこっちははっち！

生活・文化・地域アーカイブ

レファレンス協同データベースのマスコットキャラクター『はっち』が手伝ってくれるウィキペディア編集支援ツール

アイデアの概要



• 発想のキッカケ

- ※ ウィキペディアの地域に関する未編集トピックを簡単に見つけたい。
- ※ ウィキペディア編集に役立つ出典資料を探すのが難しい。
- ※ ウィキペディアタウンのコース作りに役立つツールが欲しい。



• こう変わる！

- ※ ウィキペディアの執筆が気軽にできるようになり、
ウイキペディアがさらに充実する。
- ※ ウィキペディアタウンが活発に開催される。郷土の
文化・資料の掘り起しが進み、街の魅力への理解が
深まる。
- ※ まちづくりのプレイヤーが増え、まちが活性化する。

れはっちが手伝う ウィキペディア編集支援ツール

生活・文化・地域アーカイブ

作品の概要紹介

本作品では、レファレンス協同データベースのマスコットキャラクター“れはっち”が、ウィキペディアンにあっちこっちお伴する専属のライブラリアンとなる。

UIには、音声・会話型UIを採用。ロボホンなどのコミュニケーションロボットや、スマホのアプリ上で使用する。

ウィキペディア編集を意識していない時（意欲前）は、会話の相手になる。さりげない会話や移動情報から、ウィキペディアの編集のネタをキャッチすると、積極的にユーザに話しかける。ユーザが興味を示すと、リンク情報などを送信し、ウィキペディア編集に適した操作型のデバイス（PCやタブレット）の利用を促す。

今回の開発では、全国に浸透しつつあるウィキペディアタウンでの活用をターゲットとし、WikiShootMeをカスタマイズしたWikipedian Assistantも用意する。地図にアクセスすると、地域の名勝・遺跡・公園などが表示される。チェックボックスの操作一つで、ウィキペディアの項目の有無、記事の信頼性（参考文献の充実度）、画像データの有無、そして関連するレファレンス事例の有無を表示／非表示できる。さらに、サブ画面では、その地域に関連しそうなパブリックドメインの古写真を表示。場所の特定ができれば、ウィキペディアに組み込める。

使用データ

Wikipedia、レファレンス協同データベース。
国立国会図書館デジタルコレクション、京都府オープンデータ

データ形式

テキストデータ、空間情報

提供形態

webサービス

地域

特定なし（京都）

[今後に向けて]

ハッカソン当日までに、Wikipedian Assistantを作成した。ただし、日本語化は不十分な状態。

ハッカソン当日は、『図書館員が調べた京都のギモン～京都レファレンスマップ～』(<http://libmaro.kyoto.jp/?p=165>)を使用し、シナリオベースでの挙動を確認した。

今後、レファレンス協同データベースのAPIを活用するなど、様々なトピックに利用できるよう、開発を進めていく。

